



第4期

奈良県 **食育** 推進計画

— 「食」を通して健全な心身を培い、豊かな人間性を育む—

令和6年3月
奈良県



はじめに

「食」は、私たちが生きていくための礎であり、すべての世代に共通する生活の基本であるとともに、健康、教育、農業、環境、文化など幅広い分野と大きな関わりをもっています。

誰もが健康で心豊かに暮らすことで健康寿命日本一を目指す奈良県において、健全な食生活を日々実践し、おいしく楽しく食べること、そして、それを支える社会や環境を整備することが重要であると考えます。

県では、平成19(2007)年に策定した「奈良県食育推進計画」について、これまで2度の見直しを行い、食育に関する様々な施策を推進してまいりました。

その結果、これまでに県民の食育への関心や認知度が高まるとともに、地域で食育活動に取り組む団体と行政との連携が進み、すべての市町村で食育推進計画が策定されるといった成果も得られています。

その一方で、食生活の乱れや偏食による生活習慣病の増加、ライフスタイルの変化に伴う孤食化など、食に関わる様々な課題が指摘され、さらには食品ロスの削減や地場産物の活用による環境負荷の低減など、時代の要請に応じた取組も求められているところです。

こうしたことを踏まえ、今般策定した「第4期奈良県食育推進計画」では、「『食』を通して健全な心身を培い、豊かな人間性を育む」との基本理念のもと、「健康寿命の延伸にむけた食育」、「次世代の健全な食習慣形成のための食育」、「奈良の食の魅力向上のための食育」、「食を支える環境づくり」の4つの基本方針に基づき施策を推進していくこととしました。

また本計画は、同時に策定した「なら健康長寿基本計画(第2期)」の関連計画として位置付け、健康寿命日本一を達成するための一翼を担ってまいります。

本計画の推進にあたっては、市町村、関係団体、県民の皆様と連携・協働しながら食育に関する施策に取り組んでまいりますのでご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本計画の策定にあたり、貴重なご意見を賜りました奈良県食育推進会議の委員の皆様をはじめ、関係者の皆様に厚く御礼を申し上げます。

令和6年3月

奈良県知事 山下 真

目 次

第1章 計画の基本的事項	1
1. 計画策定の趣旨	1
2. 計画の位置づけ及び期間	2
3. 計画の推進体制	3
第2章 食育の現状と課題	5
1. 奈良県の栄養・食生活に関する現状	5
2. 第3期計画の評価と今後の方向性	16
第3章 奈良県が目指す食育	21
1. 基本理念	21
2. 目指す姿	21
3. 基本方針	22
第4章 食育の施策展開	23
1. 基本方針ごとの施策及び取組の方向性	23
2. 取組の内容	24
3. 指標と目標	41
資料	43
1. 奈良県食育推進計画の変遷	43
2. 奈良県食育推進会議条例	44
3. 奈良県食育推進会議委員	45
4. 奈良県食育推進会議専門委員	45

第1章 計画の基本的事項

1. 計画策定の趣旨

奈良県では、「食」を通して健全な心身を培い、豊かな人間性を育むことを基本理念に、平成 19 (2007)年に「奈良県食育推進計画」を策定し、以後、概ね5年ごとに評価、見直しを行いながら、食育の推進に取り組んできました。

これまでの3期にわたる計画の推進により、食育の認知度は高まり、県内すべての市町村で食育推進計画が策定されるなど、食育の取組は着実に進展しました。

しかしながら、高齢化の進行や単身世帯の増加、食の外部化、簡便化など食を取り巻く環境は変化しており、本県においても若い世代の食に対する関心の低さや、食塩の過剰摂取や野菜の摂取不足など、食生活に起因する生活習慣病等の増加や働き盛り世代の肥満、若い女性の過度の痩身、高齢者の低栄養など、食に関する健康問題は依然として多く残っています。

また、平成 28(2016)年及び令和3(2021)年に実施した「県民健康・食生活実態調査」からは市町村ごとの特性も明らかになり、市町村格差を減らすことも大きな課題となっています。

本県では、県民の健康寿命を男女とも日本一にすることを目指した取組を進めているところです。この目標達成のためには県民一人ひとりの健全な食生活の実践が不可欠であり、より一層の食育の推進が重要となります。

また、食の基盤である農業や、食に関わる人々の活動についても理解を深めるとともに、環境との調和がとれた食料の生産、消費等に配慮した食育を推進することも必要となっています。

このような状況を踏まえ、本県の特性を生かした食育を県民、関係機関・団体、市町村、関係部局と連携・協働しながら総合的かつ計画的に推進するため、「第4期奈良県食育推進計画」(以下、「計画」という。)を策定します。